

会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース

卒業作品集 2012

Calendar from April 2012 to April 2013

発行：

福島県会津若松市一箕町八幡字門田 1-1 〒965-0001

会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース

phone 0242-37-2300(代表)

<http://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

2012 年 3 月

メインビジュアル：齋藤 幸太郎

編集制作：高橋 延昌

Graduation Works 2012

Five DESIGN Eggs



会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース 卒業作品集 2012

Calendar from April 2012 to April 2013

ごあいさつ

この「作品集」は、「卒業研究ゼミ発表会」、「卒業研究ゼミ要旨集」、「卒業展」と、様々な機会を通して広く公表し多くの方々からご批判を仰いできました、卒業研究ゼミの成果を示す最後のものです。「作品集」の発行も今年度で8回目を迎えました。身近な存在となるよう採用しましたカレンダー形式の編集によるものも5回目ですっかり定着した感があります。

産業情報学科では、「卒業研究ゼミ」を必修科目として位置付け、1年次の後半からプレゼミとして実施し、2年次より具体的なテーマを設定し、問題解決能力や創造性の研鑽に取り組んでまいりました。その内容はWebデザイン、グラフィックデザイン、漆工芸作品、空き店舗活用、製品デザインと様々ですが、いずれも地道な研究を裏づけとした力作です。今年もここ数年の傾向に準じて福島県立博物館主催の「会津・漆の芸術祭」に協力した「漆の芸術祭展示メディアアート・作品鑑賞サイト」や「VOICE OF AIZU」をはじめ「南会津町の空き店舗を活用した賑わい創出と食による地域おこし計画」、「地産地消推進パンフレット」、「南会津地方のイメージ戦略&PRプロジェクト」、「会津若松市におけるユニバーサルデザイン推進提案」、「漆の郷土玩具」など地域に密着したテーマや、「会津若松市に建設された応急仮設住宅におけるコミュニティの研究」、「会津若松市における応急仮設住宅の研究と提案」、「津波被害を受けた町の景色の保存」震災に直接関連するテーマや「新しい車用日除けシートの提案・製作」や「現代の冷暗所」のように震災・原発事故後関心を深めた節電、省エネルギーに関するものなど社会的課題をテーマとしたものが多くございます。

学生諸君にとっては、学生時代の創作への熱意と活力に満ちた日々の証として、知性と感性を傾け、創造への情熱を持って過ごしたときとして、喜びに満ち、時には苦しみもした、或いは挫折感を味わったときでもあります。そうした中から創造された作品たちは、ある意味、ときの記憶でもあり、良き思い出のアルバムになるものと期待しております。

卒業する学生諸君には、この「卒業研究ゼミ」で経験したプロセスと反省を通じて、創造することへの喜び、諸問題に取り組んだ挑戦するエネルギー、充実したときを過ごして得た達成感などを思い出しながら、今後の社会生活の中で果敢に展開し、更なる飛躍に繋げてほしいと願っています。

最後に、卒業研究および卒業制作にご支援、ご協力をいただきました学内外の関係者の方々に深く感謝するとともに厚く御礼を申し上げます。また、この作品集は広く学外にも配布して、諸賢の御高覧に供しています。皆様の忌憚のないご意見、ご批判を賜れば幸いに存じます。

平成24年3月

会津大学短期大学部産業情報学科
学科長 時野谷 茂

Index

デザイン分野【ゼミ】	タイトル	学生氏名	掲載月
インターフェイス【横尾ゼミ】	漆の芸術祭作品鑑賞サイト 芸術祭展示メディアアート	小野寺咲季 瀧澤緑 村尾風香	2012年4月
	VOICE OF AIZU ～会津・漆の芸術祭を通して会津の声を発信するWEBサイト～	佐藤彩 佐藤理奈 横木芽生	2012年5月
インテリア【牧田ゼミ】	南会津町の空き店舗を活用した賑わい創出と食による地域おこし計画	遠藤友梨香 近藤彩加 佐藤歩美 本田瑞季	2012年6月
インテリア【柴崎ゼミ】	会津若松市ユニバーサルデザイン推進提案 ～心のユニバーサルデザインを目指して～	榎本瞳	2012年7月
	会津若松市に建設された応急仮設住宅におけるコミュニティの研究～大熊町住民を対象として～	穴戸舞	2012年8月
	野口英世青春広場の再生デザイン～野口英世青春広場と通りの活性化提案～	船尾さやか	2012年8月
	若松城下における土蔵の意匠に関する研究	本間茉友里	2012年9月
	復興住宅へつながる応急仮設住宅の提案	渡邊美央	2012年9月
グラフィック【高橋ゼミ】	地産地消推進パンフレット「会津の宝再発見！～会津地鶏～」	大和田めぐみ 鈴木依代菜 新菱利恵	2012年10月
	南会津地方のイメージ戦略&PRプロジェクト	大竹美里 神田沙理 齋藤幸太郎	2012年11月
クラフト【井波ゼミ】	心髄	大島優衣	2012年12月
	漆の絵本	小椋可奈子	2012年12月
	漆の郷土玩具	笠間理沙	2013年1月
	触れて感じる漆	小林真理子	2013年1月
	イメージを形に	古川侑依	2013年2月
	印伝を応用した点字・触地図	矢吹安里紗	2013年2月
プロダクト【時野谷ゼミ】	新しい日除けシートの提案・製作	阿久津 大樹	2013年3月
	現代の冷暗所	大和田愛	2013年3月
	津波被害を受けた町の景色の保存	佐々木南都	2013年4月
	障害者のための歩行補助器	矢部修平	2013年4月

Interface

インターフェイス分野【横尾ゼミ】



メディアアートの各シーン



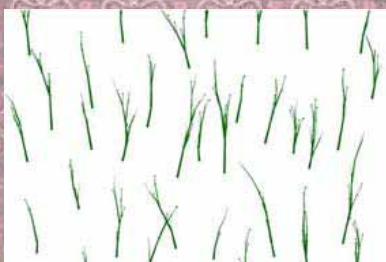
1. 青空



2. 雲空



3. 雨



4. 発芽



5. 花咲

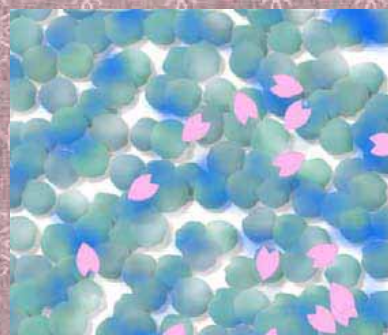


6. 花吹雪

漆の芸術祭作品鑑賞サイト 芸術祭展示メディアアート
小野寺咲季 瀧澤緑 村尾風香Dreamweaver HTML CSS JavaScript Photosynth GooglemapAPI
Flash ActionScript3.0

芸術祭の作品を、直接足を運ぶことが出来なかった方々にも楽しんでもらいたいという理由からサイトを制作しました。Photosynth という Web アプリを使用して撮影した写真をデータ化し、全周開または多視点から鑑賞できるようになっています。

東日本大震災を受けて、「自然の再生」というテーマの下、自然が失われた東北地方へ少しでも多くの自然が蘇ってほしいという祈りをこめたメディアアートを制作し、芸術祭に出品しました。メディアアートは、青空→曇空→雨→発芽→花咲→花吹雪→川の流れになっており、実際に触れることで直接効果を与えることができるようになっています。



7. 川

1

2

3

4 入学式

2 年生学科別ガイダンス

1 年生全体ガイダンス

1 年生学科別ガイダンス

1 年生コンピュータガイダンス
2 年生前期授業開始

7

8

9 1 年生前期授業開始

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21 産業情報学科
オリエンテーションキャンプ

22

23

24

25

26

27

28

29 昭和の日

30 振替休日

Interface

インターフェイス分野【横尾ゼミ】



インタビュー



トップページ



ブログ



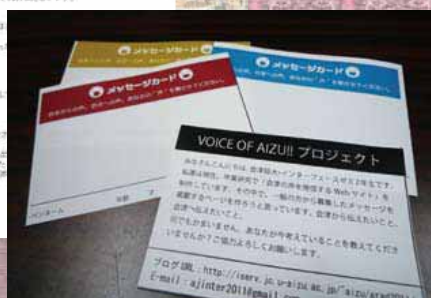
メッセージ



Flash メッセージ



概要



体験様子



VOICE OF AIZU ～会津・漆の芸術祭を通して会津の声を発信する WEB サイト～

佐藤 佐藤理奈 横木芽生

HTML CSS Dreamweaver WordPress Flash

原発事故の影響で観光客が大幅に減少するといった問題を受け、「前と変わらず、温かい人々の暮らしがここにあることを知ってもらいたい」と思い、「会津の声を発信する Web サイト」を制作することにしました。

そこで着目したのは昨年秋に開催された「会津・漆の芸術祭」です。開催 2 回目である今回は「東北へのエール」をテーマに掲げており、私たちの「会津を応援したい」という想いと通じるものがあると感じました。このイベントを通して「会津の声」を発信できるのではないかと考え、このような研究テーマとなりました。

Web 上で情報発信することで、全国の人に現在の会津の状況を知って欲しい。そして会津に対して関心を持ってもらいたいと思ったのが本研究の背景です。

1

2

3 憲法記念日

4 みどりの日

5 こどもの日

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26 スポーツ大会

27

28

29

30

31

Interior

インテリア分野【牧田ゼミ】



南会津町の空き店舗を活用した販わい創出と食による地域おこし計画

遠藤友梨香 近藤彩加 佐藤歩美 本田瑞季

◎看板 素材：スチレンボード、てぐす、発泡スチロール他 サイズ：南会津町商店街情報発信コーナー 705(W) × 80(H) MISE-Miseru 1240(W) × 148(H)

◎展示棚 素材：合板、スチレンボード、ナット他 サイズ：250(D) × 700(W) × 1134(H)

◎得た値 BOX 素材：合板、ナット他 サイズ：250(D) × 690(W) × 1134(H)

◎ハニカム BOX 素材：合板、スチレンボード、ナット他 サイズ：100(D) × 200(W) × 200(H)

現在南会津町では過疎化や少子・高齢化、空き店舗の増加や東日本大震災後の風評被害の深刻化が進んでいる。そこで、特定の商店の特徴や商品情報等をディスプレイデザインして情報発信することを計画・実施することや、本学の食物栄養学科真鍋ゼミ・本間ゼミと共同で、地域食材や特産品を活かした食品開発を行うことで、南会津町商店街の賑わい創出を計画しました。



会津若松市ユニバーサルデザイン推進提案 ～心のユニバーサルデザインを目指して～ 榎本瞳

- パンフレット 148mm × 210mm
- ゆにばくんのぬいぐるみ / フェルト / 220mm × 170mm × 250mm
- かめちゃんのぬいぐるみ / フェルト / 220mm × 150mm × 50mm
- 野口英世青春通りにおける UD 推進提案 (全体模型) / スチレンボードなど / 1200mm × 800mm × 200mm
- 野口英世青春通りにおける UD 推進提案 (ベンチ模型) / スチレンボード、塩ビ板 / 300mm × 300mm × 280mm

会津若松市を UD のまち (誰にでも住みよいまち) にするための研究を行いました。

研究を進めていくうちに UD を推進する上でハードを改善するよりも、ソフトな面で UD に取り組むことが大切だということを知りました。そこで、まずは UD の考え方を啓発するための市民向けパンフレットを作成しました。パンフレットには『ゆにばく』と『かめちゃん』というキャラクターが登場します。また二つ目に、UD を啓発するための場所として野口英世青春広場・通りの UD 提案を行いました。曲がり角を香りに感じさせたり、ベンチを配置したりと、会津若松市の UD の拠点となる場所を計画しました。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16 海の日

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27 前期定期試験 (7/27-8/2)

28

29

30

31

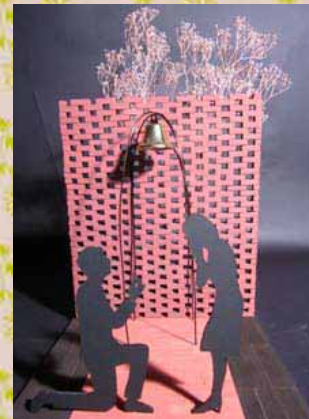
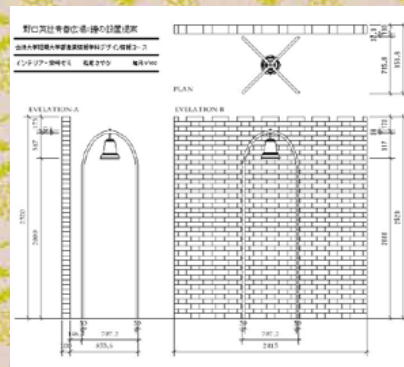


会津若松市に建設された応急仮設住宅におけるコミュニティの研究～大熊町住民を対象として～

矢戸舞

コミュニケーションボード / サイズ：260 x 300mm

現在福島第一原発の影響で会津若松市に避難されている大熊町住民の方を対象とし、震災時における応急仮設住宅でのコミュニティについてを調査、研究しました。活動としては、仮設住宅においてサロンへの参加や企画を行いました。そこでは、仮設住宅の方同士だけではなく、ボランティアの方も含め、様々なコミュニティが図られていました。最終的には、「コミュニティの出発点は相手の名前を覚えることから」の表札に加え、仮設住宅には設置されていないチャイムに代わる、伝言板が取り付けられたコミュニケーションボードの提案を行いました。



野口英世青春広場の再生デザイン～野口英世青春広場と通りの活性化提案～

船尾さやか

○鐘の模型 / スチレンボード、パルサ材、針金 / 320mm × 223mm × 340mm

○初恋の小径の模型 (共同研究) / スチレンボード、木材 / 1200mm × 800mm × 200mm

野口英世青春通り協議会からの依頼を機に、青春広場に鐘を設置するストーリーとともに青春通りの活性化のきっかけを作ることとして研究を行い、青春通りを歩く楽しさを知ってもらい、観光客にも地元の人々にも親しまれる場所になってほしいと感じました。そこで、栄町教会から広場までの通りをプライダルロードとして位置づけ、鐘をイベントの開始時終了時等に鳴らすことを提案しました。鐘はブリックウォールを用いたデザインで設置する。さらに広場を拠点とした若い女性向けの小さな店舗がある回遊路や駐車場を兼ねた公園を提案しました。

1

2

3 夏季休業 (8/3-9/27)

4

5 オープンキャンパス

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31



田中稲荷神社 全国に2つしかない土蔵造りの社



片開きの鉄戸



観音開きの土戸



防火戸

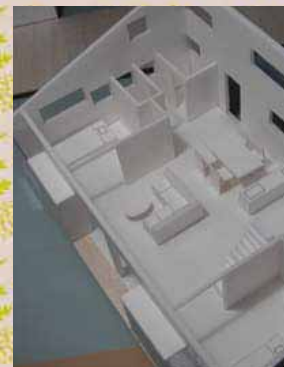


鈴木屋利兵衛

若松城下における土蔵の意匠に関する研究

本間 茉友里

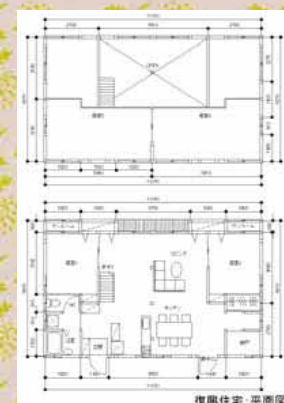
全国的に土蔵が盛んに建てられるようになった江戸～明治時代における会津若松市（若松城下）の範囲で、土蔵の意匠について調査・研究を行いました。調査は全域の現状調査から始まり、その後、武家地・町人地・寺社地等でそれぞれヒアリング・実測調査を実施しました。実測は開口部・建具を中心に行いました。また、比較対象として会津若松市以外の土蔵についても文献等で調査しました。最終的に、現状調査等の結果を基にプロット図を作成し、その他各種調査結果と総合して、会津若松市の土蔵の特徴について分析を行いました。



断面図



平面図



復興住宅-平面図

復興住宅へとつながる応急仮設住宅の提案

渡邊 美央

素材：シナ合板、スチレンボード、塩ビ板、パルサ材、フラワーツリー他 サイズ：910(D) × 1550(W) × 150(H)

大熊町から会津若松市に避難し、応急仮設住宅に入居して生活を送っている人々の現状をヒアリングやアンケートなどを行い調査、研究しました。調査では生活上での問題点や室内空間の利用方法（空間利用）など、人々の生活という点に重点をおいて行いました。

そして、それらの結果を基に復興住宅へとつながる応急仮設住宅の提案を行いました。提案は仮設住宅の敷地内における生活提案（コミュニティ形成の提案）と室内空間の提案、そして復興住宅としての室内空間との3つの面において行いました。震災からの復興とともに人々の新たな生活の拠点となるようプログラムを提案しました。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17 敬老の日

18

19

20

21

22 秋分の日

23

24

25

26

27

28 後期学科別ガイダンス

文化講演会

29

30

Graphic

グラフィック分野【高橋ゼミ】



地産地消推進パンフレット「会津の宝再発見! ~会津地鶏~」

大田めぐみ 鈴木依代菜 新妻利恵

○パンフレット 技法: Adobe Illustrator / Adobe Photoshop サイズ: W180 × H135

○ポスター 技法: Adobe Illustrator / Adobe Photoshop サイズ: B1

地産地消のイメージ向上、市民等への浸透を図り、飲食店等の来客増加や地元産農産物の消費拡大を図ることを目的とし、(前年度は「旬の野菜」)今年度は「会津地鶏」をテーマに制作しました。地元産農産物を積極的に使用した料理をピックアップし、料理に使われている地元産農産物、料理を提供する飲食店、料理人や生産者などの関係を含めてストーリー性のある内容でパンフレットを作成しました。



1 後期授業開始

2

3

4

5

6

7

8 体育の日

9

10

11

12

13 紅翔祭

14 紅翔祭

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30 開学記念日

31

1

2

3 文化の日

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20 推薦及び社会人入試

21

22

23 勤労感謝の日

24

25

26

27

28

29

30

Graphic

グラフィック分野【高橋ゼミ】



ポスター「春」南会津町田島



ポスター「春」下郷町大内宿



ポスター「夏」南会津町南郷



ポスター「夏」南会津町前沢



ポスター「秋」只見町



ポスター「冬」桧枝岐村



食用ほおずき加工食品のパッケージ (大竹)



食用ほおずき加工食品のパッケージ (神田)

南会津地方のイメージ戦略& PR プロジェクト

大竹美里 神田沙理 齋藤幸太郎

○ロゴマーク 技法: Adobe Illustrator

○中吊り広告・ポスター 技法: Adobe Illustrator / Adobe Photoshop サイズ: B1

○食用ほおずきのパッケージラベル 技法: Adobe Illustrator / Adobe Photoshop

東日本大震災による間接的な被害を払拭し南会津地方のイメージ改善を図るとともに、今後を見据えた新たな地域イメージを戦略的に展開していくことを目的とし、「いつもと変わらない南会津。」をスローガンに PR 活動を行いました。効果的な PR 方法や手法等の調査、検討を行い、「復興支援のロゴマーク / 東武鉄道中吊り広告 / 食用ほおずきのデザイン制作」の3つのイメージ戦略を具体的に展開していく各種デザインを制作しました。

Craft

クラフト分野



心髄 大島 優衣

サイズ：w72 x d72 x h83cm 素材：漆、麻布、綿糸、金箔 技法：蒔絵（銀粉）

この短大に入学したからこそ表現できること、今この瞬間しか表現できないイメージを表現したいと思い、自らが学んで感じた漆を学ぶ前後のイメージを交えつつ、物事の二面性と照らし合わせながら二層で表現した抽象的造形作品です。外側の形は漆が滴るような、赤ちゃんが包み込まれている、両手で守られているようなイメージであり、内側の形は漆の原点である縄文を意識し、布独自の柔らかなディテールを表現しています。また漆という素材が秘める可能性を広げたいと思い、以前より興味があった素材である糸を使用し、漆と糸、縄文の関係を意識して制作しました。私はこの作品を通して、物事の中核・本質・原点に焦点をあてることの重要性、また漆はさまざまな可能性を秘めている素材であることを伝えたいです。



漆の絵本

小椋可奈子

素材：塩ビ板、麻布、漆
技法：銀粉、漆絵
A4 サイズの 12 ページ

2年間漆を学んで感じた事は、若い世代に“漆”というモノが知られていないという事だ。子供から大人まで漆の事を知ってもらいにはと考えたところ、漆で絵本の制作を試みてはどうだろうと考えました。絵本は今や子供だけでなく大人にも読まれているものです。漆の絵本で楽しみながら、漆という素材を幅広い世代に知ってもらえたら良いと考え、制作に取り組みました。



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22 冬季休業 (12/22-1-6)

23 天皇誕生日

24 振替休日

25

26

27

28

29

30

31



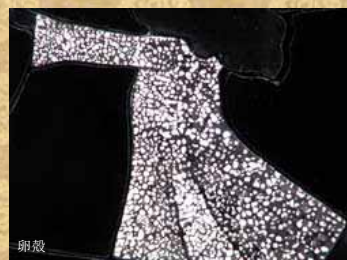
漆の郷土玩具 笠間理沙

○狐の張り子: 120 × 140 × 80 ○おしどりの張り子 (2): 75 × 90 × 50 ○いのししの張り子 (大): 70 × 160 × 100 ○いのししの張り子 (小): 55 × 90 × 65 ○蛇の張り子 (2): 45 × 120 × 110 ○猫の張り子: 70 × 180 × 150 ○絵本 (5): 各 180 × 260

故郷について考えたとき思い浮かんだのが故郷に伝わる民話や伝承という昔話です。現在ではその昔話を知る人も少なくなっているでしょう。その昔話を残す手段として昔話をモチーフにした郷土玩具を制作しました。さらに会津の特産品である漆と組み合わせより故郷を感じられるものとししました。それぞれの昔話を手にとって楽しめるものになれば、と思い作成しました。



平蒔絵



卵殻



螺鈿

触れて感じる漆 小林真理子

素材: 漆、木材、乾漆粉、銀粉、錫粉、金箔、ステンレス板、磁石
技法: 蒔絵、螺鈿、卵殻、変り塗り
サイズ: 600 × 600 × 20

私は2年間漆というものを学んできて、漆の繊細で美しい表現や今に通じる面白さを感じました。しかし、一般的に高級品として扱われている漆に対してそういった魅力を知る人は少なくなってきました。私は多くの人に漆に触れてもらうことで漆の様々な表現の仕方を知ってもらい、漆の魅力を感じてもらいたいと思うようになりました。

また、3月11日に起きた東日本大震災で私は生まれた場所に対する想いや、今後の自分はどうかあるべきかなど、震災を経験しなければ考えなかったことが多くありました。漆を学んでいる時期に震災を経験し感じたことを漆に残したいと考え、触れてよく見てもらえるものとしてパズルを思いつき制作しました。この漆のパズルに触れることで漆の良さを一人でも多くの人に感じてもらいたいと思います。

1 元日

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14 成人の日

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

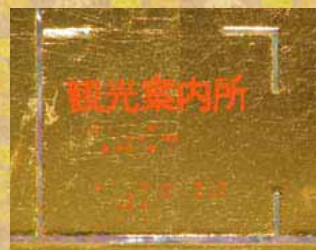
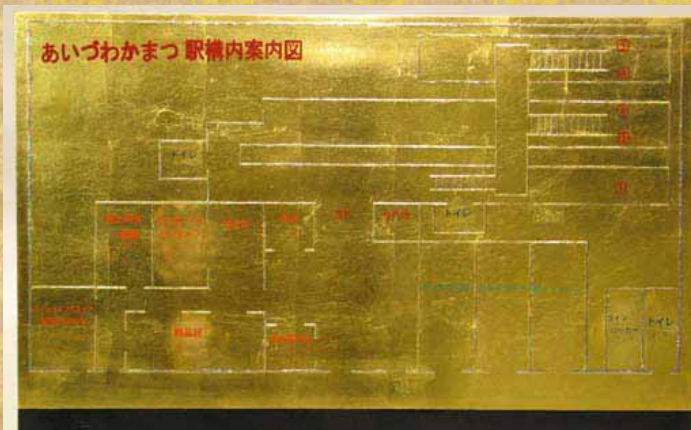
Craft クラフト分野



イメージを形に 古川侑依

素材：漆・木板・和紙・スタイロフォーム サイズ：850 × 250mm

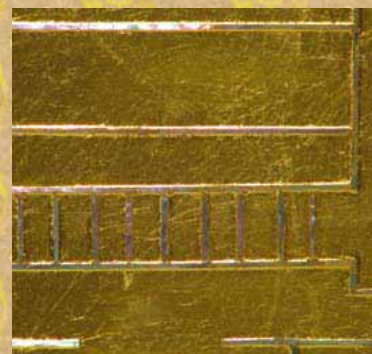
現代には、漆よりも扱いやすい塗料が、紙の書籍よりも持ち運びに便利な電子書籍があります。しかし、漆と紙の書籍のどちらにも他には変えられない魅力があります。そこで、宮沢賢治の童話集のイメージを、漆を用いて形にすることで、私が感じる「魅力」を伝えようと考えました。この作品を目にした人が、その片鱗でも感じていただければ幸いです。



印伝を応用した点字・触地図 矢吹安里紗

素材：木材、漆、金箔、螺鈿 サイズ：540 × 730 × 15

伝統工芸・印伝を用いた新しい漆の表現として、印伝の点字への応用を主なテーマに研究しました。そして研究の成果として会津若松駅構内の触地図を制作しました。一般的には点字はプラスチックや金属であらわされますが、印伝漆の突起を利用して点字として活用しました。点字として漆を表現するのが大変でしたが、漆と点字、両方の新たな可能性を広げる試みであったと思います。それと同時に地場産業である会津塗りのアピールも期待できるのではないのでしょうか。今後の展開としては観光案内図や各所の情報版などに応用が期待できます。短大で2年間漆を学んできましたが、公共の場に使われることを意識するのは新鮮な体験となりました。それだけに緊張感も伴いましたが点字という触れる機会の少ない分野にも接することができ、興味深い研究になったと思います。



1 後期定期試験 (2/1-7)

2 外国人留学生入試

3

4

5

6

7

8

9

10

11 建国記念の日

12 一般入試 (I期)

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

Product

プロダクト分野【時野谷ゼミ】



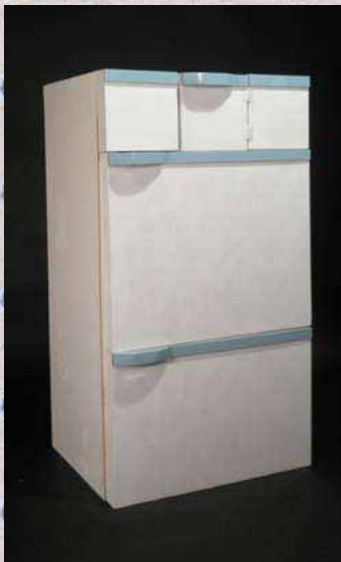
新しい日除けシートの提案・製作

阿久津 大樹

サイズ：w60 x d20 x h40cm

夏場、屋外に車を停めていると、車内がとても暑くなっています。それを防ぐ手段として様々な日除け製品が市販されていますが、十分に機能しているとは思いません。

そこで、車のシートの被せ方6種類と、日除けシートが無い状態、市販の折り畳みサンシェードを使用した時の車の、実験開始直後から一時間後の外気温、ダッシュボード、前シート、後ろシート、車内温度の5ヶ所の温度変化の比較と、車の構造調査から、今までの製品より一番外気温によって車内温度が左右されにくい日除けシートの形を発見し、製作しました。現在ガソリンの価格も上昇し、環境問題に敏感になっている今、意義のある研究だと考えます。



現代の冷暗所

大和田 愛

サイズ 外寸：w600 x d530 x h1100mm 内寸：w492 x d392 x h992mm

冷蔵庫は、詰め込みすぎや扉の開閉によって電力を消費します。また、常温保存できるものや低温障害を起こしやすいものなど、冷蔵庫で保存する必要がない食品があり、それらの保存に適した場所として冷暗所があります。そこで、冷暗所として代用できる製品を提案し、家庭の節電に繋がりたいと考えました。冷暗所とは、室内で、温度が低く一定に保たれ、日光の当たらない場所のことです。そのため、そのような場所がほとんどないアパートやマンションで使用することを考えたデザインの提案をしました。冷却には保冷剤を使用しました。内部は冷気の流れを考え、上から順に保冷剤、野菜や果物、常温保存できる食品を入れられるように棚を配置しました。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10 一般入試（Ⅱ期）

11 春季休業（3/11-31）

12

13

14

15

16

17

18

19 学位記授与式

20 春分の日

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

Product

プロダクト分野【時野谷ゼミ】



箱（外観）



昼間



夕方



夜

津波被害を受けた町の景色の保存

佐々木南都

素材：スチレンボード、木材、紙、針金、塩ビ板、チップLED、ポリウレタン線など

2011.3.11に起こった東日本大震災で、津波の被害を受けた宮城県山元町。あの日から見慣れた町の景色は日々失われ続けています。震災前までそこで生活していた人々の思い出が詰まった景色、その時まであった町の良さ。それらを模型という形あるものとして残そうと考えました。音やあかりを模型に組み込むことで、時間の流れやその町の雰囲気も共に保存しました。町の方々が震災前の町を思い出したり、山元町を知らない人や後世の人々が元の町の雰囲気を知ることができるような模型を製作しました。



障害者のための歩行補助器

矢部修平

私の伯父は、脳梗塞の後遺症で半身麻痺になってしまいました。歩行が困難な状況なので、一本杖を使用して歩行しています。買い物などで、杖を放して商品を手になりたい時に、杖を立てかける場所が無いという問題点があり、この問題についてデザインという分野から問題の解決に関わっていけないか、と考えました。「普段伯父が感じているさまざまな困難を、少しでも多く解消する製品をデザインし、より良い生活をおくれるようにしたい」という目的から、問題を解決する伯父のための一本杖を考案しました。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29 昭和の日

30

Introduction of Seminar セミ紹介

Interface

インターフェイス分野
【横尾ゼミ】



私たち横尾ゼミは、web デザインを中心に学んでいます。

Illustrator や Photoshop、Dreamweaver を使用して web サイトを制作したり Flash を使って動画等のデジタルコンテンツを制作したりする技術を身につけることができます。

実習では、制作していく内に技術を培っていくだけでなく、ユーザビリティ（使い勝手）やアクセシビリティ（例：高齢者にも対応した使いやすさなど）を考慮した web デザインの方法を自然と学ぶことができます。

デジタルコンテンツについて学ぶゼミというとコンピューターを使う作業ばかりだと思われがちですが、そんなことはありません。動画コンテンツを制作する為に遠方まで取材に行ったり、実際にイベントを体験してからコンテンツを制作したりと、人と関わる事が多いゼミです。

また、のびのびとした雰囲気と自由度が高いゼミなので、web デザインに関わらずデザインという分野を幅広く学ぶことができ、自分が好きなことを突き詰めていくことができるゼミでもあると思います。

Interior

インテリア分野
【牧田ゼミ】



SAM-MEN(サメーン) は、リーダーの Makita Masahisa、Endo Yurika、Kondo Ayaka、Sato Ayumi、Honda Mizuki の 5 人から成る、男女混合ダンスヴォーカルグループです。

所属芸能事務所はミヤモリ事務所。所属レコードレーベルは専用のプライベートレーベルです。それぞれの名前の頭文字から「SAM - MEN」と命名されました。ハイフンは地域の方々のつながりを意味しています。

2011 年に結成し、6 月 10 日に田島デビュー。リーダー Mr.Makita を中心に、南区津町旧田島地区の地域おこしを目標に活動。計 15 回 田島地区へ赴き、「店舗情報発信のディスプレイデザイン」や「食による地域おこしプロジェクト」などのパフォーマンスを行いました。ヒアリング調査の際に蕎麦屋 3 件でのフードファイターの企画に参加、夏季強化期間には臨時ユニット「木☆Girl」を結成し、ディスプレイ用のツールを製作するなど、アイドルながらも活発な面が垣間見えました。

2012 年 3 月 19 日の「学位記授与式」で解散を発表し、それぞれソロデビューの道に進む。メンバー 5 人のソロとしての今後の活躍に期待したいです。

Interior

インテリア分野
【柴崎ゼミ】



「美しいものなんて、この世にはいない。」

美しいもの——それは柴崎ゼミのことではないのだろうか——

インテリア・柴崎ゼミは柴崎恭秀先生のご指導の下日々美しさを求めて活動を行っています。美しさを求めて学んでいること、それはインテリア分野を初め、まちづくり、環境デザインなど多種多様、内容で盛りだくさんです。柴崎ゼミは基本的に個人研究を行っており、まず!! 自分が動かなければ研究が勝手に進んでくれることはありません。したがって、柴崎ゼミに入ると 1. 打たれ強くなる 2. 行動力がつく・・・なんだか辛そう・・・いやいやそんなことはないです。柴崎ゼミの研究では地域の方との交流がたくさんあります。研究を進めていくうちにいつの間にかたくさんの方との交流が生まれています。研究が終わるころにはたくさんの方への感謝の気持ちが生まれ、「あれ? ちょっと私成長したんでない?」という気分になります。何が美しいかって、達成感を覚えて、自分頑張ったよって思える私達が一番美しいのです。

Graphic

グラフィック分野
【高橋ゼミ】



何故このようなポーズをとることになったのでしょうか……

それは単にポーズが決まらなくていや、そんなことはありません。話せば長くなりますがここはあえて長話をさせてもらいましょう。私たちがグラフィックゼミに入ったのは今から約 2 年前のことです。まだデザインの知識も分らなかったあの頃、競争率の高いグラフィックゼミでは数回の面接を繰り返し、その激戦区の中私たちはなんとか生き残ることができました。それから私たちはグラフィックデザインについて学びました。グラフィックデザインとは広告・出版・印刷など平面的な上に表示される文字や画像、配色などを使用し、情報やメッセージを伝達する手段として制作されたデザインのことです。(引用: wikipedia) ゼミや実習で実践的なことを学び、私たちはデザイナーとしての一歩を歩み始めました。その道の途中、みんなでわいわいと過ごしたのは言うまでもありません。時にはカラオケに行き、時には食事を聞き…漫画やアニメが好きな私たちはそれについて語ることもしばしばありました。……はて、何の話をしていたのでしょうか? まあこの 2 年間充実していたのは確かな話です。さてそろそろお開きにするとしましょう。またどこかで会えることがあればその時にでも話の続きを致しましょうか。

Craft

クラフト分野
【井波ゼミ】



私たちクラフトゼミは、井波先生のご指導の元 2 年間漆を学んできました。ゼミに入りたての頃は漆の事は何一つわかりませんでしたが、授業や実習を重ねていくうちに漆の魅力や素晴らしさを学ぶ事ができました。漆を塗るだけでなく、お椀を制作する際には木地磨き、プレート制作の際には自分がデザインした形に切り出すなど、木工的な作業にも関わることができます。

また地元の工芸作品展や他の大学の作品展等に赴き、自分の見聞を広め、制作に繋がります。

基本的には個人制作のためグループ制作などありませんが、個性的な面々が揃うゼミで、2 年間楽しく制作することができました。漆という伝統工芸を学べるのは全国でも数少なく、とても貴重な体験ができたと思います。

Product

プロダクト分野
【時野谷ゼミ】



私たち時野谷ゼミでは身の回りにある工業製品のデザインを行っています。市場調査から問題提起をし、それらの問題点を改善するために知恵を絞ってアイデアを展開させます。パソコンを使ってハイテク人間になったり、発砲ウレタン削りなどの手作業でアナログ人間になったりと、様々な分野に踏み込む機会が多いです。「腹が減ってはゼミが進まぬ」というキャッチフレーズを掲げ、作業や食欲と戦いながらわいわいゼミ活動をしています。そして、ゼミの最後には自分の考えや製作した作品の良さを伝えるためのプレゼンテーションが待っています。ここでは、時野谷先生が凄まじい眼力を使い厳しい指摘してくるのです。失敗してやり直す事もありますが、その分コンセプトやイメージ通りに模型が出来た時の達成感と充実感は、次へ進むための土台へと進化していきます。さて、ゼミでは苦しい事もあれば楽しい事も待っています。春には新入生歓迎会として、2 年生が美味しい手料理が待っていて、秋には芋煮会、冬はクリスマスパーティーと、ウキウキする行事が盛り沢山です。ポットもレンジも冷蔵庫もありの立地条件のゼミ室は、皆のオアシスとなる事間違いなし! さあ皆さん、紅茶片手にお菓子をつまみながら、一緒に製品の素晴らしさについて語り合いましょう!!